

ベーテ仮設の数理 正誤表

本書の内容に以下の誤りがございました。お詫びして訂正いたします。

お手持ちの本の「刷数」とこの表の「該当刷数」が一致する箇所をご参照ください。お手持ちの本の「刷数」の調べ方は[こちら](#)

(2021年8月5日更新)

該当刷数	頁	行数など	誤	正
1	18	命題 2.2 1 行目	空間 $\mathbb{C}_0^2 \otimes \mathbb{C}_0^2$ 上で	空間 $\mathbb{C}_0^2 \otimes \mathbb{C}_0^2$ 上の 4×4 行列として
1	18	脚注	..., $k=1$ の場合のみを確かめればよい.	..., $N=1$ かつ $k=1$ の場合のみを確かめればよい.
1	21	式 (2.32)	$\tau_N(\lambda) = \text{tr}_{\mathbb{C}_0^2} T_N(\lambda) = \dots$	$\tau_N(\lambda) = \text{tr}_{\mathbb{C}_0^2} T_{0,N}(\lambda) = \dots$
1	26	下から 5 行目	注意しよう. したがって作用素	注意しよう. なおトレースの性質 $\text{tr}(ABC) = \text{tr}(CAB)$ を参考に上図を $P_{0,1}P_{0,N} \dots P_{0,2}$ の場合に描けば, N の行き先が確かに 1 であることを確認できる. ここで $L_{0,k}$ などは式 (2.20) のような 2×2 行列で表示している. したがって作用素
1	27	2 行目	$\frac{d}{d\lambda} T_N(\lambda) \Big _{\lambda=\frac{i}{2}} = \dots$	$\frac{d}{d\lambda} T_{0,N}(\lambda) \Big _{\lambda=\frac{i}{2}} = \dots$
1	233	5 行目	..., 高さ ± 3 で記号なしの...	..., 高さ 3 で記号なしの...